

2021年度（令和3年度）事業報告

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

一般社団法人日本建築板金協会

I. 概況

新型コロナのパンデミックの影響が続き、収束の光明はなかなか見えてこない。

日本も例外ではなく、2020東京オリンピック・パラリンピックは1年の延期を経て開催されるも、多くの競技が無観客で実施されるなど、平時とは言い難い状況が続いた。

当業界随一の全国建築板金業者静岡大会も2年連続で開催延期となったほか、常態化した豪雨災害や大きな地震も頻発している。

経済指標に目を向けると、建設投資62兆6,500億円（前年度比2.9%増）、新設住宅着工戸数81万戸（同8.1%減）、非住宅着工床面積4,003万㎡（同6.9%減）、鉄鋼粗鋼生産9,633万ト（同15.8%増）であった。

これらの社会情勢を踏まえながら全板連グループ各団体・企業と連携を図りながら下記の重要方針を掲げた事業を計画し、次世代研究会は運営実務を担う青年部が史上初の完全オンライン形式で開催し、競技大会は万全な感染対策を施して感染者を発生させることなく事業を遂行したことは、コロナ禍における事業推進方法の間口を広げることにもなった。

これらの社会情勢を踏まえながら登録基幹技能者の公的評価のさらなる向上など組合員の利益確保を念頭に置いた事業を推進し、賛助会員、全板連グループ各団体・企業と連携を図りながら下記の重要方針を中心に事業を展開した。

<2021年度 重要方針>

1. 基幹技能者制度の有効活用（建設キャリアアップシステムとの連携）
2. 次世代後継者の継続的な育成強化
3. 非組合員の加入推進
4. 指定商品の継続的展開と新たな指定商品の模索
5. 国や国会議員（議連）、賛助会員、関連メーカー等の外部機関との連携の継続的な強化
6. 環境・エネルギー関連事業への能動的な取り組み

II. 実施事業

1. 総合事業

(1) 第72回全国建築板金業者静岡大会 ⇒開催中止（1年延期）

期日	2021年5月20日（木）
会場	「ツインメッセ静岡」
参加者数	—
前夜祭	「ホテルグランヒルズ静岡」

(2) 第41回建築板金業次世代研究会（内閣府届出継続事業）

期日	2021年11月20日（土）	
主会場	「東京都立産業貿易センター浜松町館」	
参加数	46組合、協賛賛助会員11会員（500名超アクセス）	
テーマ	～逆境からの変革、そして成長～	
講演 （順不同）	田村潤氏（元・キンビール(株)代表取締役副社長） 村田豊氏（前・日板協/全板連青年部部長、 （株）MURATA 代表取締役）	
協賛 賛助会員 （順不同）	NST 日本鉄板(株) 元旦ビューティ工業(株) JFE 鋼板(株) （株）セキノ興産 （一社）全国建物診断サービス	月星商事(株) 東海カラー(株) ニチハ(株) 日新工業(株) 日鉄鋼板(株) （株）淀川製鋼所 11 会員

(3) 第44回全国建築板金競技大会（内閣府届出継続事業）

期日	2022年2月26日・27日（土・日）	
会場	「富士教育訓練センター」（静岡県）	
参加者	来賓 4名 技能競技の部（ZIC） 26名 建築技術の部（NYAC） 6名（選手合計32名） 参観者 2名 日板協青年部役員 11名 設営スタッフ 11名	
入賞者 （敬称略）	【技能競技の部（ZIC）】 1位 井狩憲治（滋賀県※） 2位 粒来雄貴（岩手県） 3位 片野裕勝（北海道） 4位 西嶋拓也（山口県） 5位 柳原大貴（愛知県） 6位 監物太一（神奈川県） 7位 清野悠太（秋田県） 8位 右近克義（石川県） 9位 中山桜太（島根県） 10位 菊地和浩（茨城県） ※一般参加	【建築技術の部（NYAC）】 1位 吉岡智佳（富山県） 2位 永徳 太（神奈川県） 3位 橋本直明（三重県） 4位 三上浩平（北海道） 5位 該当者なし

2. 専門事業

それぞれ次の通り事業を遂行した。

(1) 渉外・受注開発関連事業（担当：小島義郎専務理事（野溝年成理事））

①登録建築板金基幹技能者制度の推進

各ブロックや組合において講習（新規・更新）が実施された。

【新規】 取得者合計 63 名

期日	ブロック・組合（資格取得者数）
2022 3/12～13	関東甲信越ブロック（40名）
3/15～16	北海道ブロック（8名）
3/19～20	西部ブロック（15名）

【更新】

各組合で通信・講習会の諸方法により随時実施した。

2021年度更新申請者 306名

2021年度更新者合算更新者数 364名（対象者 421名） 更新率：86%

登録建築板金基幹技能者 資格者数 2,981名（2022年3月31日現在）

②国（中央省庁）対応（責任施工保証制度及び登録基幹技能者の公的評価向上）

国土交通省を中心に、特定技能制度に係る連携などを図った。

（一社）日本金属屋根協会と連携を図り、特定技能制度の試験問題の作成や各種教材の策定作業に取り組んだ。

③建築板金業振興議員連盟対応

12月8日（水）に自由民主会館で計画された総会は国会開催を勘案し中止となった。役員体制は変更なく下記の通り（敬称等略）。

会長	石破 茂（衆・鳥取県）
副会長	中谷 元（衆・高知県）
	北村誠吾（衆・長崎県）
幹事長	後藤田正純（衆・徳島県）
事務局長	鈴木淳司（衆・愛知県）
事務局次長	宮下一郎（衆・長野県）

④関連機関対応

建設産業専門団体連合会（建専連）が例年開催していた各地方整備局幹部との意見交換会は未実施となったが、建専連から依頼されたアンケート調査などに対応した。

その他の団体（建設業振興基金ほか）についても定期的な会合（リモート含む）への出席、各種アンケート調査への協力、あるいは行事等における協力などを行って連携を図った。

⑤メーカー、商社との連携

新型コロナウイルス感染防止に十分に配慮しながらの訪問など、連携のさらなる強化を図った。

⑥賛助会員との連携

通算 15 回目として計画した交流会は新型コロナの感染回避のため開催を中止した。
会員数は 6 会員の入会、1 会員の退会で 36 会員（2022 年 3 月 31 日終了時点）。

- 【入会】(株)サカタ製作所、三晃金属工業(株)、元旦ビューティ工業(株)、
(一社)全国建物診断サービス、BPM(株)、(株)横河システム建築
【退会】(一財)あんしん財団

(2) 商品開発関連事業（担当：中島福則理事）

①指定商品などの事業の推進

- ・「全板連ルーフィング」「カップ 23」「かっぱルーフ 2 号」ほか（日新工業株式会社）
- ・「ルーフエナシャイン」（太耀産業株式会社）
- ・「ラクボ」ほか取扱商品全般（ミドリ安全株式会社）

参考 <推奨商品>

- ・「ソーラー換気棟」（株式会社太田製作所）
- ・「業務用機器関連（LED 照明）」ほか
（株式会社オリコビジネス&コミュニケーションズ）
- ・「ファストフラッシュ」「フラッシュシール」（株式会社タイセイ）

②ドローンに関する関連情報収集と取り組み方の検討

国の動きなどを注視しながら、情報収集を継続した。

(3) 環境・エネルギー関連事業（太陽光発電ほか）（担当：岩間辰夫理事）

- ・太陽光発電事業
屋根工事を生業とする当業界が請け負うべきものとしての認識は変わらず、前向きな工事受注活動に邁進した。
- ・環境/エネルギー全般に関する情報収集・関連機関との連携を継続した。

3. 顕彰事業

各顕彰に業界関係者を推薦し、その努力や功労に報いた。（順不同・敬称略）

(1) 勲章

種別	受章者
旭日双光章	小野寺俊一（前副会長）

(2) 褒章

種別	受章者
黄綬褒章	沖野東陽（副会長）

(2) 大臣表彰など

種別	受賞者
優秀施工者 国土交通大臣顕彰 (建設マスター)	武山堅太朗 (北海道) 松浦博文 (島根県) 筒井康夫 (高知県) 山本和良 (大分県) 中村久良 (宮崎県)
優秀施工者 不動産・建設経済局長顕彰 (建設ジュニアマスター)	西尾将人 (島根県) 富田貴弘 (高知県) 築出勇一 (熊本県)

(3) 全国建築板金業者大会における表彰

⇒大会は開催延期となるも、表彰状等の送付を以って実施

種別	被表彰者数
感謝状 (ブロック会長、組合理事長退任)	8名
表彰状 (組合理事長6年以上在任)	2名
表彰状 (組合事務局10年以上勤務)	5名
功労章 (組合役員10年以上もしくは同等功績)	46名
収益事業推進組合表彰 (指定商品部門・保険関連部門)	各部門3組合 合計6組合
全国建築板金競技大会	第42回大会 両部門上位5位 10名
同上 特別表彰	第42回大会で両部門 1位達成者 1名

4. 青年部事業 (担当 川島隆司理事) 支援及び協力を行った。

(1) 第46回通常総会／第22回全国青年部部長会議

行事名	期日	会場
第46回通常総会	4.23 (金)	(対面、オンライン、書面)
第22回 全国青年部部長会議	4.23 (金)	(対面、オンライン)

日板協・内閣府届出継続事業の「建築板金業次世代研究会」「全国建築板金競技大会」においては実務的な運営を担い、両事業の中心的な役割を果たした。

Ⅲ. 庶務事項

1. 会員数の状況

(1) 年度別推移

①正会員（各年度4月1日現在）

	2020年度	2021年度	増減数
会員数（組合）	46	46	±0
組合員数（事業所）	7,535	7,397	-138

②賛助会員（各年度3月31日現在）

	2020年度	2021年度	増減数
会員数	31	36	+5

2. 会議の開催

1. 総会（2回）

回数等	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第51回 定時総会	5.19(水)	「東京都立産業貿易センター 浜松町館」	事業報告・計画、収支決算・予算等の承認、役員改選ほか
臨時総会	12.8(水)	自由民主会館	定款変更（オンライン総会など）

2. 理事会（4回）

回数	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第1回	4.27(火)	「板金会館」	第51回定時総会上程案の決定 ほか
第2回	5.19(水)	「東京都立産業貿易センター 浜松町館」	役員改選
第3回	6.17(木)	「板金会館」	2021年度事業推進方法の検討 ほか
第4回	11.4(木)	「板金会館」	2021年度事業推進状況の確認 ほか

3. 正副会長会議（5回）

回数	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第1回	4.8(木)	「板金会館」	第51回定時総会上程案の確認 ほか
第2回	6.3(木)	「板金会館」	2021年度事業推進方法の検討 ほか
第3回	10.7(木)	「板金会館」	2021年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	2022 2.3(木)	「板金会館」	2022年度事業計画の概要決定 ほか
第5回 (臨時)	3.15(火)	「板金会館」	静岡大会の開催可否について

4. 監事会（2回）定款第42条に基づく監査

回数	期日	会場	主な内容
第1回	4.22(木)	「板金会館」	2020年度 決算監査
第2回	10.21(木)	「板金会館」	2021年度 中間監査

5. 全国理事長連絡会議（1回）

回数	期日	会場	主な内容
第1回	12.8(水)	自由民主会館	事業経過報告と要請事項の伝達 ほか

<参考>

青年部行事（幹事会7回、必要に応じて各種委員会などをそれぞれ開催）

種別	期日	会場
第1回幹事会	4.12(月)	「板金会館」
第2回幹事会	4.23(金)	「東京グランドホテル」
第46回通常総会	〃	〃
第3回幹事会（役員改選）	〃	〃
第22回全国青年部部長会議	〃	〃
第4回幹事会	7.2(金)	「板金会館」
第5回幹事会	9.9(木)	「オンライン」
第6回幹事会	11.19(金)	「板金会館」
第7回幹事会	2022 2.26(土)	「富士教育訓練センター」（静岡県）

3. 会員組合並びにブロックとの連携

期日	行事	場所	出席者
4.9(金)	四国ブロック 総会	香川県	天野理事長、小島専務
4.15(木)	関東甲信越ブロック 総会 同ブロック 創立50周年行事	新潟県	同上
5.12(水)	北海道ブロック 総会	北海道	同上
11.9(火)	長崎県板 設立50周年記念行事	長崎県	同上
11.13(土)	石川県板 創立50周年記念行事	石川県	同上

4. 関係諸機関・団体との連携（抜粋）

期日	行事	場所	出席者
4. 14(水)	CCUS説明会（国交省）	オンライン	小島専務理事 ほか
4. 20(火)	令和3年度第1回建設分野特定技能に係る試験委員会	国交省	小林事務局長
4. 26(月)	CCUSレベル判定の実施方針に関して（国土交通省）	オンライン	天野会長
4. 26(月)	登録基幹技能者推進協議会運営委員会	オンライン	小島専務理事 ほか
6. 9(水)	(一社)建設産業専門団体連合会「第20回通常総会」	「ホテルグラン ドヒル市ヶ谷」	小島専務理事
9. 7 (火)	国土交通省「専門工事業団体との意見交換会」	オンライン	天野会長 ほか
12. 3(金)	(一財)建設業振興基金 令和3年度連携団体職員合同研修会	振興基金	黒木係員
2022 3. 4(金)	(一社)建設産業専門団体連合会 令和3年度第2回会員団体事務局長等会議	オンライン	小林事務局長

5. 関連省庁ほかとの連携

(1) 国土交通省

建築施工管理技術検定委員会に森川文明理事を派遣した。

(年度内2回：オンラインの場合あり)。

特定技能、建設キャリアアップシステムの各種打ち合わせで緊密な連携を図った。

(2) 経済産業省

従前同様の連携を図った。

(3) 厚生労働省

従前同様の連携を図った。